

みんなの未来をつくるまち活補助金 活動発表交流会用 活動紹介シート

団体名

そらいろのこえ

採択事業名

子ども発達に悩むママ達の6大不安要素を解決する居場所づくり

① 採択事業の概要

1 解決したい地域課題とその背景

発達特性のある子どもを育てる保護者は、日常生活の中で複数の不安を抱えている。

具体的には、

- ・ 安心して出かけられる場所が少ない
- ・ 必要な情報にたどり着きにくい
- ・ 孤独や不安を感じやすい
- ・ 子どもの特性に合う体験の場が少ない
- ・ 相談しても理解されにくい
- ・ きょうだいや家族とのバランスに悩む

といった課題がある。

これらは目に見えにくいですが、保護者の孤立を深める地域課題である。

本事業は、こうした不安を少しでも軽減し、安心して過ごせる場を地域の中に生み出すことを目的とする。

2 上記の課題を解決するための申請事業の概要

- ・ 発達特性のある子どもを育てる保護者が、安心して参加できる体験型ワークショップを地域イベント等で実施した。
- ・ 活動は「ものづくり」を中心とし、参加のハードルを下げることで、発達をテーマに強く打ち出すのではなく、自然な関わりの中で親子が過ごせる時間を大切にした。
- ・ 制作活動を通して保護者同士の会話が生まれ、子育てに関する情報交換や悩みの共有が自然に行われる雰囲気づくりを行った。
- ・ また、今後は発達特性への理解をより深める機会として、専門的知見を有する講師や関係者との連携も視野に入れながら、安心して話せる場づくりへと発展させていく。
- ・ 団体内の運営や打合せにはオンライン会議ツール(Zoom)を活用し、継続的な活動体制を整えた。
- ・ 地域イベントへ出店することで、活動を必要とする方へ届ける機会を広げ、地域とのゆるやかなつながりを育んだ。
- ・ 出店による収益は活動費に充当しており、営利を目的とするものではない。

3 事業内容によって到達したい状態や目標

- ・ 発達特性のある子どもを育てる保護者が、安心して参加できる場を地域の中に増やすこと。
- ・ 体験活動を通じて保護者同士が自然につながり、情報共有や悩みの言語化ができる関係性を育むこと。
- ・ 子ども自身が「できた」「楽しかった」という成功体験を積み、自分らしく過ごせる機会を広げること。

② 今年度の事業報告と今後の見通し

1 実際に実施した事業の内容と参加者数など成果

- ・ 2025年8月1日 バンビオ20周年記念サマーナイトカフェ 2025 出店(21組参加)
- ・ 2025年8月3日 わいわい夏まつり出店(44組参加)
- ・ 2025年9月6日 まるごとヘルシーフェスタ出店(16組参加)
- ・ 2025年10月26日 ハロウィンおばけランド出店(10組参加)
「つくってかざろうバンビオの花道」ワークショップを実施。

制作活動を通して、保護者同士の自然な会話が生まれ、子育てや発達に関する話題も共有された。イベント参加をきっかけに団体の活動を知り、継続的なつながりにつながったケースもあった。制作した花は、バンビオ20周年展示として長期間掲示され、子どもたちの作品が地域に可視化される機会となった。

- ・ 2025年12月1日 座談会を実施（5組）
安心して話せる居場所づくりを目的に座談会を開催。雑談をベースに、子どもの特性理解や進学への不安などを共有し、経験に基づく助言や共感が生まれた。
幅広い年齢の子どもを育てる保護者が参加し、多様な視点が交わされる中で「1人ではない」と感じられる安心感や前向きな気づきにつながった。本活動は、保護者同士がつながる環境づくりと地域での関係性の可視化につながり、今後の居場所づくり活動の基盤となった。
- ・ 2026年2月16日 筆文字アートワークショップ開催（10組）
ものづくりを通じて保護者自身が「自分の想い」を表現する時間をつくることを目的とする。今後予定している座談会へつながる第一歩として位置づけている。

2 広報の方法*参加者を公募した方法

- ・ 市の広報紙
- ・ ポスター
- ・ バンビオ、イズミヤショッピングセンター長岡、各小学校、各保育園、幼稚園へのチラシ配

架

- ・ SNS(インスタグラムなど)
- ・ ラジオ出演

3 収入を得る方法*事業を今後も続けるための収入

- ・ 参加費 ¥500- または ¥1,000- を徴収

4 次年度以降の事業の展開

- ・ 次年度は団体体制の変更に伴い、これまでの活動の想いや目的を大切にしながら、個人として地域における居場所づくりの活動を継続予定である。
- ・ 補助金の活用は行なわず、自主運営の形で活動を続けていく。
- ・ 主な活動として、月 1 回程度の座談会開催を目標とし、子育ての中で不安や悩みを抱える保護者が安心して気持ちを話せる場を継続的に提供する。
- ・ 特に発達特性のある子どもを育てる保護者の心の居場所づくりを大切にしながら、同時に特性への理解や関心を持つ保護者や地域の方々にも開かれた形で実施し、ゆるやかなつながりが生まれる地域づくりを目指す。

